

JCBA

銅及び銅合金の比重

JBMA T901 : 2023

2023年6月26日 改正

日本伸銅協会 技術委員会 審議
(一般社団法人 日本伸銅協会 発行)

銅及び銅合金の比重

Specific Gravity of Copper and Copper Alloys

1 適用範囲

この標準は、JIS に定める銅及び銅合金の代表的な比重を示す。

2 銅及び銅合金の比重

表1 銅及び銅合金の比重

合金番号 種類の記号	比重	合金番号 種類の記号	比重	合金番号 種類の記号	比重	合金番号 種類の記号	比重	合金番号 種類の記号	比重	合金番号 種類の記号	比重			
C 1011	8.9	C 2100	8.9	C 3501 W	—	C 4250	8.8	C 5010	8.9	C 6140	—	C 7060	8.9	
C 1020	8.9	C 2100 W	8.8	C 3531 B	8.5	C 4430	8.5	C 5015	—	C 6161	—	C 7100	8.9	
C 1020 B		C 2200		C 3601 B	8.4	C 4450	—	C 5050	8.9	C 6161 B	—	C 7150	8.9	
C 1020 W		C 2200 W		C 3601 W	—	C 4621	—	C 5071	8.9	C 6191 B	—	C 7164	8.9	
C 1100	8.9	C 2300	8.8	C 3602 B	8.5	C 4622 B	—	C 5102	8.9	C 6241 B	—	C 7250	8.9	
C 1100 B		C 2300 W		C 3602 W		—	C 4640	—	C 5111	8.9	C 6280	—	C 7270	8.9
C 1100 W		C 2400		C 3603 B		8.5	C 4641 B	8.4	C 5191	8.8	C 6782 B	8.3	C 7451	8.6
C 1201	8.9	C 2400 W	8.7	C 3603 W	8.5	/	C 5210	8.8	C 6783 B	—	C 7521	8.7		
C 1201 B		C 2600		C 3604 B			8.5	C 5212	8.8	C 6801 B	8.2	C 7541	8.7	
C 1201 W		C 2600 W		C 3604 W			—	C 5240	8.8	C 6802 B	8.2	C 7701	8.7	
C 1220	8.9	C 2600 W	8.5	C 3605 B	—		C 5341	8.9	C 6803 B	8.3	C 7941	8.7		
C 1220 B		C 2680		C 3710	8.4		C 5441	8.9	C 6804 B	8.3	/			
C 1220 W		C 2700		C 3712 B	—		/	C 6810 B	8.5					
C 1260	C 2700 B	C 3713	8.4	C 6820 B	—									
C 1441	C 2700 W	C 3771 B	8.4	C 6870	8.3									
C 1510	C 2720	/	/	C 6871	8.3									
C 1565	C 2720 W			C 6872	—									
C 1700	C 2800			C 6931 B	8.3									
C 1720	C 2800 B			C 6932 B	8.3									
C 1751	C 2800 W			/	/									
C 1862	C 2801					8.4								
C 1921	/					/								
C 1940														
C 1990														

表中で“—”は、比重の値が確認できていないことを示す。

銅及び銅合金の比重 解説

1 今回の改正までの経緯

この標準は、1979年に**JBMA T901**（銅及び銅合金展伸材の平均的密度表）として制定されたが、その後見直しが行われてきていなかった。また、同じような密度表が伸銅品データブックや**JIS**ハンドブックの参考ページにも記載されているが、掲載されている合金の種類や密度の値に統一性がなかった。今回、技術標準検討小委員会にて本標準の見直しを行うことになり、現在、伸銅品の製品**JIS**に登録され且つ国内伸銅メーカーにて生産されている銅合金を全て掲載することとした。

2 主な改正点

主な改正点は、次のとおりである。

a) 掲載する値及び標準の名称

本標準の対象は板、条、管、棒、線すべての展伸材であり、密度の測定が困難な形状も含まれていることから、密度が変わって比重を掲載することとした。これに伴い、標準の名称を“銅及び銅合金の平均的密度表”から“銅及び銅合金の比重”に変更した。

b) 掲載する銅及び銅合金

伸銅品の製品**JIS**（**JIS H 3100**、**JIS H 3110**、**JIS H 3130**、**JIS H 3140**、**JIS H 3250**、**JIS H 3260**、**JIS H 3270**、**JIS H 3300**）に登録され、且つ国内伸銅メーカーにて生産されている銅及び銅合金全てを掲載した。なお、**C 2051**は伸銅品メーカー各社における製造の実績が認められなかったため、今回の一覧からは除外した。

c) 種類の記号

JIS H 3250及び**JIS H 3260**では、合金番号ではなく合金番号の後に“B”や“W”などの形状記号が付与された“種類の記号”が使用されている。そこで、表の見出しを“合金番号”と“種類の記号”の併記とした。

d) 掲載する数値の桁数

組成のばらつきや製造工程の違いにより比重の小数点第2位の値はばらつきが生ずる。そこで、ばらつきを考慮し、掲載する値は小数点第1位までとした。